



SUWA CITY

うつくしい湖 あふれる緑 小鳥うたうまち
文化の香り高く いきいきと やさしいまち
愛する郷土 世界のひとと 手をつなぐまち

諏訪市プレスリリース
教育委員会事務局 生涯学習課
令和元(2019)年8月30日

諏訪市美術館学校連携展関連イベント 諏訪清陵高校縛り 諏訪清陵高校、諏訪市への愛のメッセージ募集

諏訪市美術館では、令和元年度学校連携展として「諏訪清陵高校×松本春崇」を予定しています。関連イベントとして、松本春崇さんの手掛けるアートイベント「家縛りプロジェクト」を実施します。諏訪清陵高校を縛るメッセージ縄とするため、諏訪清陵高校、諏訪市への愛のメッセージを募集します。

1. 募集場所、期間

すわっチャオ：令和元年8月25日（日）～9月15日（日）

本庁ロビー：令和元年8月31日（土）～9月15日（日）

2. 内容

松本春崇（hmp Art）は、建物などを、制作した縄で十字に縛り蝶々結びをしてアート作品を作る家縛りプロジェクトをおこなっています。今回、諏訪清陵高校や諏訪市につながるのがある人たちの諏訪清陵高校や諏訪市への愛と思い出を込めた縄を制作し、その縄で校舎をつなぎ、蝶々結びをし、記録を残すという作品を作りたいと計画しています。諏訪清陵高校を縛るメッセージ縄とするための、諏訪清陵高校、諏訪市への愛のメッセージを募集します。

3. 参加方法

募集場所に、メッセージを書くための布やマジックをご用意しておりますので、そこで、諏訪清陵高校や諏訪市へ向けた愛のメッセージを書いて、提出してください。

4. 諏訪清陵高校縛り

書いていただいたメッセージは、10月13日（日）に実施する諏訪清陵高校縛りで、メッセージ縄として使用します。



〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り 4-1-14
長野県 諏訪市 教育委員会事務局
生涯学習課 美術館（諏訪市美術館）
（担当）丸山 綾
電話 0266-52-1217
FAX 同上

諏訪市 HP ⇒⇒⇒ <http://www.city.suwa.lg.jp>

諏訪市美術館HP⇒⇒⇒ <http://www.city.suwa.lg.jp/smart/>

諏訪清陵高校、諏訪市への 愛のメッセージ 募集！

私たちは、家を制作した縄で十字に縛り蝶々結びをしてアート作品を作る家縛りプロジェクトをおこなっています。今回、諏訪清陵高校や諏訪市につながりのある人たちの諏訪清陵高校や諏訪市への愛と思い出を込めた縄を制作し、その縄で皆さんと校舎をつなぎ、蝶々結びをし、記録を残す作品を作りたいと考えています。

そこで、市民の皆さまに、日頃感じている諏訪清陵高校や、諏訪市への「思い」や「思い出」「愛」を白い布に描いていただけないかと思えます。

描いていただいた愛のメッセージ布は、諏訪清陵高校の在校生、卒業生、関係者の方々が描いた愛のメッセージ縄とつなぎ、諏訪清陵高校の校舎を結ぶ縄にします。

松本春崇 (hmp Art)

メッセージの書き方・描き方

1. 好きなペンを自由を選んでおかきください。1色でも多色使いでもok。
布は、一人1枚。(複数枚でもok)
2. サンプル布の内側の線を参考にして、布の内側にかいてください。
外側のフチは縫い代になります。
3. メッセージは、諏訪清陵高校、諏訪市に対する愛のメッセージ
例えば、 諏訪清陵高校、諏訪市のここが好き
私が考える諏訪清陵高校、諏訪市の魅力
諏訪清陵高校、諏訪市の思い出
など、どんなことでもok。
4. 文字でもイラストでも、何でもokです。

*場合によっては（誹謗・中傷めいたメッセージなど）は、使用できないことがあるかもしれません

*書いていただいたメッセージの著作権は、アーティスト・松本春崇に帰属します

諏訪清陵高校は、在校生やご父兄、先生、近所の方々にとってはもう一つの家であり、卒業生の皆さまには愛する母校。それは心のよりどころであり、心の家と言えるでしょう。そしてそんな母校が建つ、ここ諏訪の地はかけがえのない土地だと思います。

皆さんのメッセージがつまった愛の縄で、世代を超えた「心の家＝愛する母校」をつないで結んだとき、在校生や世界へ羽ばたいた卒業生たちが、諏訪清陵・愛によって結ばれて心がつながり、過去、現在、未来、世界、そしてそのことに刺激された世界の人々のつながりが生まれることによって現在と過去と未来、そして世界をつなぐすばらしいアート作品となることを願っています。

10/13（日）諏訪清陵高校 「つないで結ぶ」家縛りプロジェクト 皆さん、一緒に校舎を縛りませんか？

愛のメッセージを仕込んだ布状の縄で、プレゼントの箱を十字に縛って蝶々結びをするように校舎をつないで結びます。どのように布縄を建物にかけたらよいか、皆さんと一緒に知恵と力を出し合い、校舎を諏訪清陵のスリーラインの色で結んだあと、蝶々結びの下に集まり記念撮影をおこない終了。3～4時間の所要時間。

皆さん、ふるってご参加ください！

■日時

令和元年10月13日（日）11：00スタート

※少雨決行。荒天時10月14日（月）に延期。

〈 家縛りプロジェクト 〉

家を家族や友人たちと一緒に、独自に制作した縄で家を十字に縛り、蝶々結びを作り、その記憶や痕跡を残すアートプロジェクト。アーティストの松本春崇が、十字に紐がけされた古新聞を見て新聞が紐で四分割されていることに気づき、家と同じように縛ったら面白いのではないかと考え 2010 年よりスタートしました。

家を縛るときは、その家の家族や友人たちが中心になって縛り方、結び方を考えておこなうため、家を縛り結ばれた縄には参加者の感性や美感が反映され、その感性や美感は縄の形や雰囲気に残されます。「家縛りプロジェクト」は、そうした家族の美学が残された縄の痕跡を、写真や映像などで記録を残す新しい縄文芸術です。日本の縄文化を現代的な芸術表現として継承し、多様な文化をつないで結んできた日本人の共存の精神を作品に込めて、世界へ発信したいと考えています。

松本春崇 | MATSUMOTO Harutaka

1958 年滋賀県生まれ。多摩美術大学大学院修了後、フランス政府給費を受け 1987-89 年パリのエコールデボザール留学。2003-04 年文化庁芸術家在外研修員によりニューヨーク滞在。現在千葉県在住。

1986 年より「四つ」をモチーフにした絵画や彫刻、写真などの 4ism 作品を発表している。平行して 2010 年から「家縛りプロジェクト」をスタート。「4 軒まとめて家縛り in 稲村ガ崎」(神奈川)、NADiff (東京)、ステファンのボートハウス (USA)、横浜美術大学 (神奈川)、メゾン・ド・プ (フランス)、足利商工会議所 (栃木)、個人の家など現在までに 48 軒をおこなう。今年 5 月から「旅する家縛りプロジェクト 縄の聖地・信州へ」の企画で、信州の各地で家縛りプロジェクトを開催中。国内外での個展、グループ展多数。

<http://harutakamatsumoto.com/>

hmp Art (harutaka matsumoto plus Art)

松本春崇と編集者だった角田良江のアートプロジェクト名。家縛りプロジェクトや縄縷いワークショップの実施、それに伴う企画、制作、マネジメントをおこなう。

■問い合わせ先

諏訪市美術館

〒392-0027 諏訪市湖岸通り 4-1-14

TEL/FAX 0266-52-1217

SCM-ART@city.suwa.lg.jp

<http://www.city.suwa.lg.jp/scmart/>